

Labo letter



検査情報

衛生検査所

下関市医師会臨床検査センターは、2008年3月に登録申請を行い衛生検査所の認可を受けました。精度を保持するために日々の精度管理の記録を明確にし、新たに作業書や日誌等を作成し、その向上に努めています。精度管理とは、検体の採取から検査結果の報告に至る一連の作業における精度保証をいいます。その精度管理の進め方の概略を示します。

精度管理の進め方

検 査 業 務		日誌・台帳等	
集配業務 検査室 での業務	検体の採取	検体の採取についての注意を促し、各医療機関に協力を仰ぐ	
	検 体 の 受 領	依頼書と検体の照合、総検体数及び、 依頼書等の記載漏れや不明確な点の確認	検 体 受 領 作 業 日 誌
	検体の搬送	各検体を保存条件ごとに保管する	検 体 搬 送 作 業 日 誌
	検体の受付 及び仕分け	依頼書と検体を合わせると共に受付をし、 検査工程ごとに仕分けを行なう	検体受付及び仕分け 作業日誌
	検査外部委託		委 託 検 査 管 理 台 帳
	検査測定		
	薬の側面	試薬・管理試料・標準物質の適正な使用	試 薬 管 理 台 帳
	検査機器の側面	日常の保守点検・定期点検	検 査 機 器 保 守 管 理 作業日誌
	人的側面	標準作業書による手技の統一	測定作業日誌
	統計学的 精度管理の側面	管理図等によるチェック 外部精度管理によるチェック	統計学的精度管理台帳 外 部 精 度 管 理 台 帳
	検査結果の 報告	報告書のチェック・検査過誤や苦情の処理	検 査 結 果 報 告 台 帳 苦 情 処 理 台 帳

以上の流れに沿って日々の業務を行なっています。まだまだ改良しなければならない点が多々ありますが、問題点を話し合いながら進めていきたいと思っています。

お知らせ

ASO（抗ストリプドジノ価）の測定について

当センターで測定をしておりました、ASOにつきまして検査試薬（ゼラチン粒子凝集反応）の販売中止に伴い、4月よりBMLへの外注検査とさせていただきます。

（血清検査室）

測定原理	ラックス免疫比濁法
基準値	成人 244 以下 IU/ml 小児 320 以下 IU/ml
保険点数	15 点（判断料 免疫学 144 点）
採取容器	生化学用スリッ（生化学と併用可）
所要日数	1～2 日

お知らせ

薬剤感受性の判定カテゴリー(S, I, R)を変更しました

(H21.1～)

この度CLSIの改正をもとに、カテゴリー(S, I, R)の見直しを行いました。以下の菌種においてカテゴリーの変更を行います。

CLSI: Clinical and Laboratory Standard Institute

変更のある菌種	カテゴリーのなくなる薬剤	カテゴリーの付く薬剤
<i>Branhamella catarrhalis</i>		ABPC, PIPC, CEZ, CTM, CFDN, CDTR, CFPN, FMOX, IPM, CAM, AZM, CLDM, OFLX, LVFX, ACV, S/A
<i>Campylobacter</i> sp.	ABPC, PIPC, CEZ, CTM, CMZ, CFDN, FMOX, IPM, GM, ABK, CLDM, MINO, VCM, TEIC, S/A	FOM, LVFX

参考: カテゴリー(S, I, R)とMIC値「-」について

菌種によってカテゴリーの付く薬剤と付かない薬剤があります。カテゴリーの付かない薬剤はカテゴリー値(基準値)がない場合で承認適応がなく、あまり使用されない薬剤です。カテゴリーの付く薬剤については適応薬剤です。

また、MIC値の「-」マークはその対象菌に対して耐性の基準値がないことを示します。
(細菌検査室)

センター紹介シリーズ

病理検査室

当検査室では、2名の病理医(非常勤)と3名の技師(細胞検査士)で、病理組織顕微鏡検査・細胞診検査・鼻汁好酸球検査を行っています。

病理組織顕微鏡検査における私たち技師の仕事は、病理医に診断していただく標本を的確に丁寧かつ速く美しく作製することです。これは組織診断上の基本的な作業ですが、正確な診断をしていただくための重要なポイントです。

また、細胞診検査は補助的診断としての性格が強かったのですが、昨今では、これまでの自然剥離細胞に対する細胞診とは別に、直接病変部から穿刺等の方法で細胞を採取し診断するという方向も進んできています。しかも患者様への苦痛が少ないことから、今後増加していくことが考えられ、その有用性は社会的にも認められるようになってきています。組織検査は当然のことながら、細胞診も場合によっては最終診断となり得る検査です。

これからも、常に患者様のことを思い、緊張感を絶やさず、向上心を持って、日々業務に携わっていきます。

検査Q&A

Q: 尿沈査にみられる円柱の意義は?

- A: 硝子円柱 … 腎実質性障害の初期
上皮円柱 … 尿細管障害の示唆
赤血球円柱 … 出血・炎症の示唆
白血球円柱 … 出血・炎症の示唆
脂肪円柱 … ネフローゼ症候群
顆粒円柱 … 腎実質性障害の慢性化・末期
ろう様円柱 … 腎実質性障害の慢性化・末期

編集後記

花ほころぶ頃となりました。四月というと検査センターでは、健診も始まり忙しい季節となります。特定健診も二年目をむかえ、去年よりは結果をスムーズにお返しできるようにしたいと思いますので、よろしくお願いします。

編集委員 岩野千春・田中郁子・畑 里佐子
発行責任者 椿 安志

〒751-0831 下関市大学町2丁目1-2

下関市医師会臨床検査センター

TEL 083-252-2188 FAX 083-255-0726

TEL 083-252-3794(検査室直通)